

O's news



2018年7月1日発行

特発性正常圧水頭症とは—認知症!?!— 脳神経外科 医長 前岡 良輔

脳は頭蓋骨の中で脳脊髄液という透明な液体に浮かんでいる状態にあります。(例えると、お味噌汁の豆腐(脳)、器(頭蓋骨)と味噌汁(髄液)のような関係。) これにより脳は外からのダメージを受けにくくなります。髄液は脳の周囲を循環していますが、この髄液が脳室と呼ばれる脳の内側にある部屋に溜まることで、内側から周囲の脳を圧迫し、それにより歩きにくさ(歩行障害)、認知症、尿失禁などを起こしてしまう病気を水頭症と言います。

この水頭症はくも膜下出血、脳腫瘍、外傷、脳出血などを原因に起きることが多いですが、年齢を重ね、お年寄りになった時に特別な原因がなく起きてしまうことがあり、これを特発性正常圧水頭症と言います。65歳以上の1%前後がこの病気とされています。

この病気の重要なところは外科的手術によって治るということです。よく聞かれると思いますが、治る認知症と言われるものの一つです。

外科的手術は脳室に溜まった髄液を、頭から腹部までの皮膚の下にチューブを通すことで腹部に流すシャント手術と呼ばれる手術です。

頭の中で余計に溜まった髄液は、このチューブを伝ってお腹の中に流れ、お腹の中で再び体内に取り込まれます。

特発性正常圧水頭症の代表的な症状は、歩きにくさ(歩行障害)、認知症、尿失禁の3つです。手術

の効果は、歩行の改善が90%、物忘れと失禁の改善が50%程度です。中には劇的に生活レベルが改善する人もいます。病気が進行してしまうと、治療効果が少なくなりますので、早めの受診をお勧めします。

お年寄りになると、物忘れが多くなったり、歩き方が不自由(歩行障害)になったりすることがあります。しかし、認知症が進行してきたことを、一概に「年のせい」、歩きにくくなってきたのを「腰のせい」、「膝のせい」とあきらめるのではなく、一度当院で御相談下さい。



最近の医療は、治療や検査に専用の医療機器を使用する事が多くなってきました。当院でも2017年より「医療機器を管理するための部屋：臨床工学室」を設置し、医療機器を扱うスタッフが安心して機器を使用できるよう、また患者様に提供する医療が常に安全であるように、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士が毎日医療機器を点検しています。

その他にも日々進歩を続ける医療機器や安全情報などを院内で共有したり、使用するスタッフが安全に操作できるよう操作指導などの研修会を開催し、医療の安全確保に努めています。



大西脳外科クリニックのご紹介

看護部参与 木村 ひとみ

2017年1月に開院しました、明石駅前のパピオスあかし3階にあるクリニックです。めまい、しびれ、耳鳴り、物忘れ「何かちょっと変」「この感覚大丈夫かな？」など気になる症状にきめ細かい対応が可能です。皆様のかかりつけとして経験豊かな専門医がていねいに診療します。

当クリニックと大西脳神経外科病院はネットワークシステムオンライン化されておりサポート体制は万全です。

また、毎月1回クリニック埠本院長による脳外科ミニ講座を開催しております。気になること何でもお気軽にご相談下さい。安心して医療が受けられるようにスタッフ一同努力してまいります。よろしくお願い致します。

診療時間		月	火	水	木	金
午前	受付時間 8:30~11:30	○	○	○	○	○
	診療時間 9:00~12:00					
午後	受付時間 14:30~17:30	○	○	○	○	○
	診療時間 15:00~18:00					

休診日：土曜日、日曜日、祝日

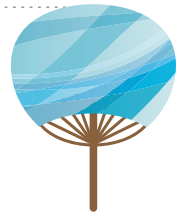
ふみづき
文月七夕飾りに短冊を書く季節。書の上達を願う「文月」に。
全国各地で花火大会が開かれ、夜空を彩ります。十
節
気夏
至

7/2~6(第三十候) 半夏生 / はんげしようず

夏至から数えて11日目の雑節が「半夏」です。この頃までに田植えを済ませるものでした。「かっこう♪」と鳴く季節の鳥かっこう。他の鳥の巣に自分の卵を紛れこませる「托卵(たくらん)」をする鳥として知られ、相手として20種類もあるそうです。

十一
節
気小
暑

7/7~11(第三十一候) 温風至 / あつかぜいたる

日増しに暑くなり、梅雨明けも間近になります。
浅草のほおづき市、7/9、7/10に浅草寺にお参りすると、四万六千日分の功德があると信仰されるようになりました。風鈴が風に揺れ、うちわにゆかた姿の人々ににぎわいます。ちなみに音で涼を感じるのは日本人だけといわれます。梅雨
が
明け、
暑い
夏が
目前
です。
せみの
声
が
元
気
に
響
き
ま
す。

7/12~17(第三十二候) 蓮始開 / はすはじめてひらく

鮮やかなピンクや白の幻想的な花が、夜明けと共に開きます。仏典で釈迦誕生のとき、母親の周りに蓮の花が咲き乱れ、釈迦は蓮の花の上に立ち、「天上天下唯我独尊」と第一声をあげた話は有名ですね。



7/18~22(第三十三候) 鷹乃学習 / たかすなわちわざをならう

本格的な夏を迎えるこの頃、鷹の子供たちは巣立ち獲物を捕ることを覚えます。土用の丑の日のうなぎ、滋養強壮食品として、日本の食文化に深い関わりがあります。奈良時代 万葉集に「武奈伎」という古称が登場します。

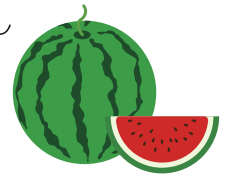
十二
節
気大
暑

7/23~27(第三十四候) 桐始結花 / きりはじめてはなをむすぶ

夏に高い木枝に薄紫色の花が咲き、盛夏の頃、卵形の実を結びます。暑い夏に涼しい、甚平さん♪戦に行く武士が羽織った「陣羽織」をもとに、下級武士が真似て作った「甚平羽織」がその原型と言われています。

夏本番、
海や山へ。
夏の
風景
を
楽
し
み
ま
す。

7/28~8/1(第三十五候) 土潤溽暑 / つちうるおうてむしあつし

入道雲が立ちのぼる青い夏空。時折降る雨にむし暑さも増します。
夏においしいすいか、中近東などの砂漠地帯では水の変わりに飲まれていました。利尿作用があり、老廃物の排出を促すカリウムが多く含まれます。

今月の花

インパチェンス

ツリフネソウ科一年草 開花期:6月~10月
原産地:熱帯アフリカ 花言葉:「豊かさ」「鮮やかな人」

子供の頃「ホウセンカ」の実をさわって、クルンとはじけるその面白さを思い出す方々もいらっしゃることでしょう♪ホウセンカもインパチェンスの仲間です。

「我慢できない」という意味のインパチェンス、その元は「アフリカホウセンカ」です。「半日陰~日陰でもよく育つ夏の花」の代表で、初夏~秋まで次々と、明るい花が咲き続けます。

花言葉にもあらわれていますね。

透明感のあるかわいらしい花は、暑さを忘れさせてくれます。



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	—	第4金曜日
	午後	高橋	前岡	角田	—	てんかん外来 田村
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	松岡	小坂
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	—
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 赤谷	内科 竈門(カマド)	—
	午後	—	—	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.7)

連携協力医療機関のご紹介(No.154)

かもめクリニック

院長:今村 洋一郎

【認定資格】日本精神神経学会 精神科専門医

【診療科目】精神科・神経内科

【住 所】兵庫県明石市本町2丁目5番13号玉澤ビル2F

【電 話】078-911-1645

今村院長からのメッセージ

当院では、医師以外に相談員も配置し、患者さんの人権を尊重し、思いやりのある患者中心の治療を心掛けています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	/	○	○	○	/
午後(15:00~18:30)	○	○	/	○	○	/	/



連携協力医療機関のご紹介(No.155)

なかにし眼科クリニック

院長:中西 頼子

【認定資格】医学博士・日本眼科学会認定 眼科専門医

視覚障害者用補装具適合判定医・眼科光線力学的療法(PDT)認定医・身体障害者福祉法指定医

【診療科目】眼科

【住 所】兵庫県神戸市西区持子2丁目3-2

【電 話】078-925-4100

中西院長からのメッセージ

眼科一般診療や眼鏡・コンタクトレンズ処方、また手術は白内障をはじめ網膜硝子体、眼瞼下垂など幅広く行っております。目に関する症状があればいつでもご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(15:00~18:00)	○	▲	○	▲	○	/	/

▲…手術・特殊検査

【休診日】土曜午後、日祝

※受付は診療時間終了の30分前までです。

※平成28年12月15日から、初めて当院でコンタクトレンズ処方を希望される方の受付は17:00で終了させていただきます。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

